■建物概要

建設地	神奈川県足柄上郡開成町延沢773
敷地面積	7,699.27㎡
建築面積	2,150.16㎡
延床面積	3,893.19㎡
階数	地上3階建
構造種別	基礎免震構造　RC造、一部鉄骨造
建物高さ	16.39m
昇降機	トランク付エレベーター　常用(11人乗り)　1基
駐車台数	89台(来庁者用) • EV充電スペース1台 • 思いやり駐車区画6台
EV充電設備	急速充電器2台　(公用車専用1台)
自転車・オートバイ置場	69台

■工事経過

起工	2018年7月25日
建物竣工	2019年11月29日
事業竣工	2021年6月30日

■設計・監理

株式会社松田平田設計　横浜事務所

■施工

大成建設株式会社　横浜支店

■庁舎建設事業費

[事業費]　(単位:万円・税込)

庁舎建設	新庁舎	241,845
	外構	16,080
	建設費計	257,925
	設計・工事監理	14,422
	調査費等	3,764
	諸経費計	18,186
解体	プール解体工事	1,943
	旧庁舎解体	13,799
	解体費計	15,742
	設計	620
	調査等	144
	諸経費計	764
合計		292,617

[財源]　(単位:万円)

基金	公共施設整備基金	41,500
補助金	自治基盤強化総合補助金	1,344
	社会資本整備総合交付金	1,400
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	44,618
	補助金計	47,362
起債	地方債	188,090
その他	一般財源	15,665
合計		292,617

開成町役場
住所：258-8502
神奈川県足柄上郡開成町延沢 773
TEL：0465-83-2331（代表）

ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2020

令和3年度
気候変動アクション大賞

KAISEI TOWN

開成町新庁舎のご案内

GREEN PRINTING JFPI
P-B10271

開成町

人と自然が調和した「未来」と田舎モダンを象徴する庁舎

開成町　町長
府川裕一

ここに、新庁舎の建設から周辺の整備まで無事完了したことに、町民の皆様をはじめとしてご協力をいただいた全ての方々に対し、心から感謝申し上げます。

私が町長に就任したのは、東日本大震災の発生、続く福島第一原子力発電所の事故により、日本中が混乱に陥っていたさなかです。

自ら被災地に赴き、その実情を目の当たりにした経験から、町民の生命・財産を守ること、自然エネルギーの活用の重要性を再認識し、「環境にやさしく、機動性の高い防災拠点となる新庁舎」をつくろうと決意しました。

この新庁舎の整備は、単に古くなった庁舎の建て替えではありません。災害時の緊急対応から毎日の行政運営にいたるまで、向こう100年にわたって持続可能な形で、最高の町民サービスを提供するための「基地の建設」だと考えています。

そのために必要なものは何か、町民との対話や庁内での検討を重ね、その結果「日本初のZEB庁舎」を実現することができました。新庁舎を「最高の庁舎」にするためには、より良い町民サービスを模索・追求し、時代の流れやニーズに対して職員が臨機応変に業務を改善していく姿勢が重要です。

皆様に心からご満足いただけるよう、これからも努力を続けてまいります。

開成町議会　議長
吉田敏郎

はじめに、開成町新庁舎完成、誠におめでとうございます。

この記念すべき慶事を開成町民の皆様とともにお祝いできることを大変喜ばしく思います。

本町は1955年(昭和30年)に、酒田村と吉田島村の合併を経て、今や神奈川県では人口増加率第1位を誇り、開成駅に急行が停車するなど、豊かな自然や文化、歴史など多くの地域資源に恵まれた町に発展しました。

今日までの開成町の発展は、先人たちのたゆまぬ努力と情熱があったからこそであり、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

また、町民の皆様におかれましては、新しい時代にふさわしい開成町発展のために、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月に「新庁舎に関する調査特別委員会」を立ち上げ、議場のあり方、町民の皆様に優しいワンストップサービス、職員が働きやすいデスクワーク等、様々な角度から議論したことが思い出されます。

開成町議会といたしましても、町政発展にご尽力いただいた先人たちの志を忘れることなく、町民の皆様の負托に応えるため、今後も安全・安心で住みよい町の発展に寄与するように、全精力を傾けて取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様の更なる福祉の向上と、開成町の更なる発展を祈念申し上げ、発行に寄せる挨拶とします。

あじさい天井板アート・ハイサイドライト

基本1理念
安心・安全の庁舎
有事の際にも安心・安全の中枢として町民の暮らしを守ります。

基本2理念
ひらかれた庁舎
町民にわかりやすく、使いやすく。ワンストップサービスの提供とともにプライバシーにも配慮します。

基本3理念
地球環境にやさしい庁舎
環境負荷を低減し、ライフサイクルコストを縮減します。

基本4理念
親しまれる庁舎
町民が気軽に訪れることができ、出会いや賑わいを創出します。

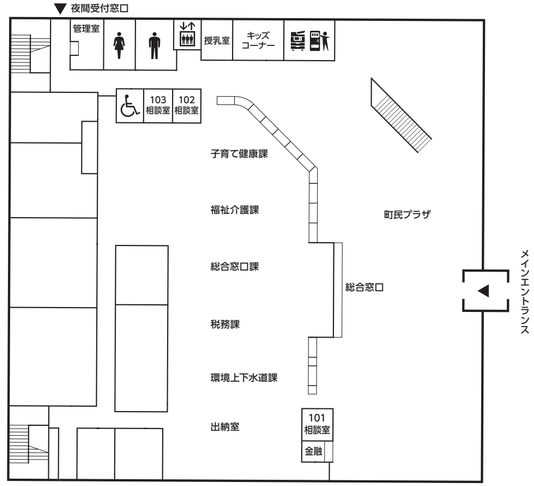
基本5理念
高効率性で長く使える庁舎
町民ニーズや社会情勢の変化に柔軟に対応します。

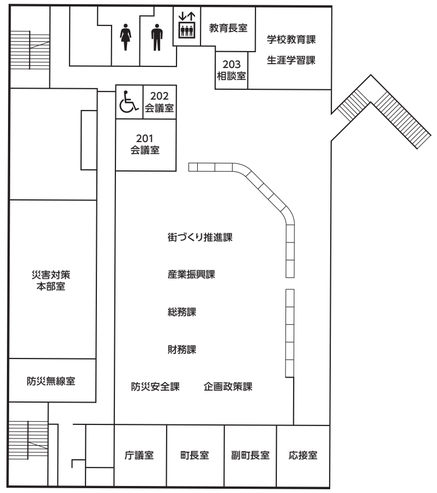
わかりやすく、使いやすく。

環境負荷を抑え、質の高い町民サービスを実現。
次代につなげる庁舎をご紹介します。

1階

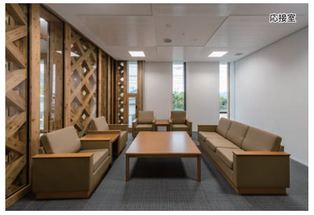
- 町民プラザ
- 総合窓口課
- 税務課
- 福祉介護課
- 子育て健康課
- 環境上下水道課
- 出納室
- 相談室
- キッズコーナー
- 授乳室
- 管理室（夜間受付窓口）





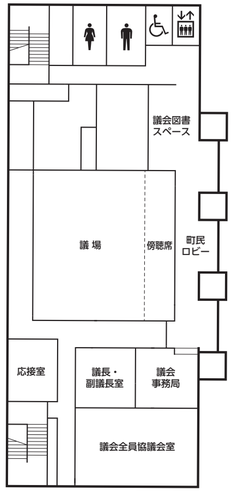
2階

- 町長室
- 副町長室
- 教育長室
- 応接室
- 庁議室
- 企画政策課
- 総務課
- 防災安全課
- 財務課
- 街づくり推進課
- 産業振興課
- 学校教育課
- 生涯学習課
- 相談室
- 防災無線室
- 災害対策本部室（会議室）



3階

- 議場／傍聴席
- 議長・副議長室
- 応接室
- 議会全員協議会室
- 議会事務局
- 町民ロビー
- 議会図書スペース



学問、知識を開発し、
世のため成すべき務めを成さしめる
「開物成務」を実現する庁舎

利便

- 来庁しやすく、使いやすいバリアフリーな環境を創るために、1階を広く取り窓口業務を集約。対座対面のサービス窓口の充実とワンストップサービスが可能な窓口カウンターにより、来庁した方の利便性を向上させ、職員とのコミュニケーションを図りやすくしています。
- さまざまな執務室レイアウトを可能にするために、柱間を広く取るとともにフレキシビリティの高いオープンフロアを採用しています。執務室の後ろには、会議室や倉庫、書庫などのサポートエリアを隣接させて、執務効率と各課間のコミュニケーションの向上を図っています。

快適

- 開成町を象徴する「田舎モダン」な空気感を醸し出すために、町民プラザを木質素材に包まれた空間とし、多様な「居場所」を提供します。新しい出会いと発見を生み出す地域活力の場としてにぎわいを創出します。
- 1階の町民プラザは、内部の活動が外から見えるように大きな開口部を設けて開かれた庁舎を表現。多くの人がわかりやすく利用しやすいレイアウト、さらに誰もが見やすいサインなど、ユニバーサルデザインを採用しています。

防災

- 免震構造を採用することにより、災害時においても災害対策機能や庁舎機能を維持することが可能です。また、日常利用の省エネ設備が災害時には機能継続設備に切替り、災害時でも業務の継続が可能な庁舎となっています。
- 災害発生直後から災害対策室との連携を取りやすいフロア構成とし、災害時の復旧拠点施設とともに、セキュリティに配慮した空間と機能を実現しています。

環境

- 水に恵まれた町の特徴を生かした井水熱や太陽光を利用した輻射空調等の省エネ空調システム、人感センサーや昼光制御センサーを組み合わせたLED照明を採用し、快適性を保ちながら消費エネルギーの削減を実現しています。
- さまざまな環境技術により消費エネルギーを削減し、BELS※による日本初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の認証を受けた庁舎となりました。

※：BELSとは「Building-Housing Energy-efficiency Labeling System」の略で、建築物省エネルギー性能表示制度